

あいち農産物生産流通レポート

2025年3月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ いちご「愛きらり®」のブランド化について	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 海部地域食育推進ボランティア研修会「地域の食文化と歴史」を開催しました	(海部農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・ 大村知事が首都圏の消費者に「あいちの農産物」をPR	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報	
・ 地産地消流通網の構築について	(食育消費流通課) 5
・ 「白菜の収穫体験と漬物講習会」を実施しました	(園芸農産課) 7
◎ フラワーページ	
・ 第73回関東東海花の展覧会が池袋で開催されました	(東京事務所) 8
・ フラワーバレンタインプロモーション2025について	(園芸農産課) 10
◎ 青 果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	13
・ 名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	14
◎ 花 き	
・ 切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	26

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

いちご「愛きらり®」のブランド化について

園芸農産課

「愛きらり®」は、県農業総合試験場とＪＡあいち経済連が約５年かけて共同開発したいちごの新ブランドで、愛知県産であること、特徴である光沢感をイメージして名付けられました。

県は、農業団体、生産者等と共に愛知県いちご新品種ブランド化推進協議会を設立し、「愛きらり®」のブランド化推進に取り組んでいます。

今回は、2024 年度の取り組みを紹介します。



「愛きらり®」ロゴマーク

1 「愛きらり®」について

大きくてツヤがあり、しっかりとした甘さがあることが特徴で、見た目も味も満足できるいちごです。果実が大きく、果形が整っていて濃い赤色で光沢に優れており、見た目が華やかで高級感があります。酸味が少なく、しっかりとした甘さがあり、果皮も果肉も赤い色が濃く、スライス断面の見栄えが良いため、ケーキなどの加工品への活用にも適します。

2023 年 2 月から試験販売を開始し、今年度、本格販売を迎えました。毎年 10 月頃から翌年 6 月頃まで、主に中京地域のスーパーや量販店などで販売されます。



「愛きらり®」

2 「愛きらり®」のブランド化の取り組み

(1) PR販売イベント

ジェイアール名古屋タカシマヤ(2025 年 1 月 22 日～24 日)、ラシック (2025 年 2 月 21 日～22 日) にてPR販売イベントを開催しました。

イベントでは、「愛きらり®」の試食や、「紅ほっぺ」等の他品種も含めて愛知県産いちごの販売を行い、その魅力をPRしました。



PR販売イベントの様子

(2) 「愛きらり®」を使用したスイーツの販売

ジェイアール名古屋タカシマヤの期間限定ショップ (2025 年 1 月 22 日～28 日)、ラシック及び名古屋栄三越内の一部スイーツショップやカフェ (2025 年 2 月 15 日～3 月 4 日) で、「愛きらり®」を使用したスイーツが販売されました。



「愛きらり®」を使用したスイーツ

(3) PR動画の制作

愛知県で洋菓子店を経営するパティシエや「愛きらり®」生産者に出演いただき、「愛きらり®」を使ったスイーツをテーマにしたPR動画を制作しました。

2025 年 1 月 23 日から YouTube 上で発信しています。

(https://youtu.be/h_00TuyfINI?si=bYA8QT9xjtReES6A)



PR動画

“「ひと口調査」～『愛きらり®』編～
【愛知県・いいともあいち運動】”

(4) 愛知県洋菓子協会との連携

愛知県洋菓子協会役員の洋菓子店オーナー7名に「愛きらり®」を使用した商品を試作いただき、新商品としての取扱いを検討いただきました。

今後、一部店舗は新商品のテストマーケティングを行います。

(5) 知事の名刺を使ったPR

県では知事の名刺を活用した農林水産物のPRを行っており、今年度は12月と1月に知事が使用する名刺に「愛きらり®」の図案を入れ、県内外へのPRを行いました。

2024年11月27日に愛知県いちご新品種ブランド化推進協議会の代表者らが知事を訪問し、知事が「愛きらり®」を試食し、その魅力をPRしました。

(6) 農林水産祭「実りのフェスティバル」への出展

2024年11月1日～2日に池袋サンシャインシティで開催された農林水産祭「実りのフェスティバル」の「都道府県特産物の技術・経営展」で愛知県のブース展示コーナーに、PRグッズ（ポスター、パンフレット、ミニのぼり）、果実を展示しました。



ブース展示の様子

(7) 生産技術の高度化に関する取組

今年度から「イチゴ『愛経4号』の栽培指針」、「イチゴ『愛経4号』栽培事例集」や定植後の収穫株のタイムラプス動画を活用し、各産地で栽培技術の普及に取り組んでいます。

情報共有と技術の研鑽を図るため、2024年6月21日に「令和6年度生産高度化研修」（参加者 133名）、2024年10月29日に「令和6年度『愛経4号（商標名：愛きらり）』栽培研修会」（参加者 89名）を開催し、県農業総合試験場が「愛きらり」栽培管理の要点（育苗期間の肥培管理による心止まり防止、厳寒期の葉面積など）を講演しました。

収量が既存品種より多く、特に販売単価の高い年内から厳寒期に多い点や、果実が大きく、果形の揃いも良いことから省力的に収穫・出荷調製ができる点を生産者から評価され、東三河地域を中心に栽培面積が拡大しています。「愛きらり」導入が進んでいる産地では、現地巡回や研修会を開催しました。本格出荷を迎えた今年度は、昨年作に比べて生産者数は2倍以上、出荷量は3倍以上増加する見込みです。

3 課題と今後の目指すところ

2025年2月1日～2日にJRセントラルタワーズにて実施した、「令和6年度『愛きらり®』消費者調査」では、「愛きらり®」の認知度は18%であり（図1）、昨年度の同時期、同地点により実施した調査による認知度16%からほとんど上昇していないという結果となりました。

「愛きらり®」を愛知県のブランドいちごとして地位を確立させるためには、知名度を向上させるとともに、作付面積や出荷量をさらに増加させ、かつ安定して高品質な果実を生産できる体制が必要です。

引き続き、関係機関と連携しながら認知度向上に資する取組を行い、PRしていくとともに、栽培指針を各地域へ普及させ、高品質果実生産を推進することで、消費者にとっても生産者にとっても喜ばれるいちごとして皆さまに愛されるブランドいちごとなるよう、努めてまいります。

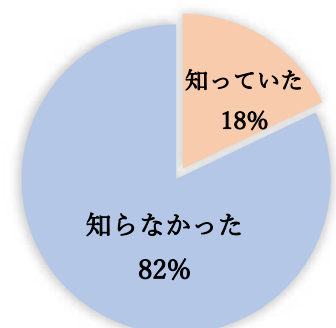


図1 「愛きらり」の認知度の結果
（令和6年度「愛きらり®」消費者調査より）

海部地域食育推進ボランティア研修会 「地域の食文化と歴史」を開催しました

海部農林水産事務所

地域の食文化に対する理解を深め、地産地消を推進するために、令和6年12月11日、海部総合庁舎会議室において、令和6年度海部地域食育推進ボランティア研修交流会を実施しました。

講師として、愛知県調理師会 副会長 鳥居久雄氏を迎え、「地域の食文化と歴史」をテーマに講演いただきました。

当日は、食育推進ボランティア等関係者25名が参加し、対話形式の講演が開催されました。

講演では、郷土料理の話題を中心に、地域の風土や文化と深く結びついている「あいちの伝統野菜」や「あいちの水産」についても語られ、参加者は興味深く聞き入っていました。

あいちの伝統野菜については、愛知縮緬かぼちやの調理方法や早生とうがんのわたの食べ方など、水産については、鰻の蒲焼の「蒲焼」は、植物の蒲（がま）に由来しているなどの紹介がありました。

講演後のアンケートでは、「郷土料理は奥が深く興味深い」「知らない伝統野菜をたくさん知ることができたので、身近な人にも伝えていきたいと思った」等の感想が寄せられました。

こうした研修交流会等を通して、あいちの農林水産業への関心を高め、地産地消を推進します。



熱心に受講する参加者

大村知事が首都圏の消費者に「あいちの農産物」をPR

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

愛知県農産物需要拡大推進協議会（構成：愛知県、J A あいち経済連）の主催による「あいちの農産物トップセールス」が 2025 年 2 月 8 日（土）にイオンスタイル板橋（東京都板橋区）で開催されました。首都圏のイオンでは初の開催になります。

本イベントは、本県産農産物の約 3 割が出荷されている首都圏において、これらの需要の一層の拡大を目的として毎年開催しています。大村知事が直接、首都圏の消費者に向けてPRを行っており、今回で 17 回目の開催となりました。

1 大村知事らが本県産農産物の魅力をPR

トップセールスでは、大村知事が「愛知と言えば工業県というイメージが強いと思いますが、中部地区最大の農業県でもあります。本日は愛知の農産物をたくさんご用意しました。ぜひともお買い求めいただき、ご家族やご友人に美味しさをお伝えください。」とPRしました。また、J A あいち経済連会長、J A ひまわり、J A 愛知みなみ、J A 豊橋の各組合長からもPRが行われ、来場者に本県産農産物を強く印象づけました。その後、来場者 200 名に配付した抽選券による「お楽しみ抽選会」を実施し、特賞として 5 名に本県産農産物の詰合せ（キャベツ、トマト、いちごなど）、参加賞として 195 名に本県の新しいブランドいちご「愛きらり®」の 2 個入りパックのプレゼントを行いました。会場には子供連れが多く、特賞を渡す際に子供が受け取りに出てくる場面もありました。

2 盛りだくさんのイベントを併せて実施

トップセールスの他にも多くのイベントを実施し、本県の魅力をPRしました。

- ・本県産農産物の朝市（店舗入口）及び特設売り場（店内）の設置
- ・「服部半蔵忍者隊」によるニンジャショーと写真撮影会
- ・ジブリトートバッグの配付
- ・店舗内のデジタルサイネージでのPR動画放映（本県のPR、キャベツのPR）

当日は、トップセールスを開催したイオンスタイル板橋を含む、イオンリテール株式会社南関東カンパニーの 10 店舗で本県産農産物の販売・PRが行われました。

今後もこのような取組を通じて、「あいちの農産物」を多くの首都圏の消費者に知ってもらい、首都圏での消費拡大を図っていきます。



本県産農産物をPRする大村知事（中央）



いちご「愛きらり®」を配付する大村知事



朝市（店舗入口）と特設売り場（店内）には、多彩な本県産農産物が勢揃い

地産地消流通網の構築について

食育消費流通課

県では、地元の農産物を地元で消費する「地産地消」を進めるとともに、生産者の販路拡大を支援するため、2021年度から2023年度にかけて「地産地消流通網構築事業」を実施しました。最終年度である2023年度の実施結果と2024年度の状況を報告します。

1 事業の内容

本事業では、農産物の生産者と小売店や飲食をマッチングするITシステムと農産物の共同配送を組み合わせた「やさいバス」の仕組みを活用しました。生産者と小売店等に対する説明会や個別調整を行って配送ルートを設定し、知多地域と豊橋・田原地域で実際にトラックを運行する実証試験を行いました（表1）。実証試験では生産者によるITシステムの使い勝手、集荷場所（バス停）への農産物の出荷の課題等の確認を行いました。

表1 2023年度の実証試験の状況

	知多地域	豊橋・田原地域
実施期間	2023年12月～2024年2月	2023年11月～2024年2月
生産者数	3	13
小売店数	4	4
運行日	火・木	月・水・木
現在の運行状況	2024年4月から休止	継続

2 生産者からの評価

「やさいバス」は、小売店が農産物を直接買い取るため、代金決済がスムーズで、生産者のコスト負担が少なく、生産者から特に高く評価されました。また、生産者に近いところに設置された集荷場所で農産物を回収するため、生産者の出荷の手間も軽減されます。

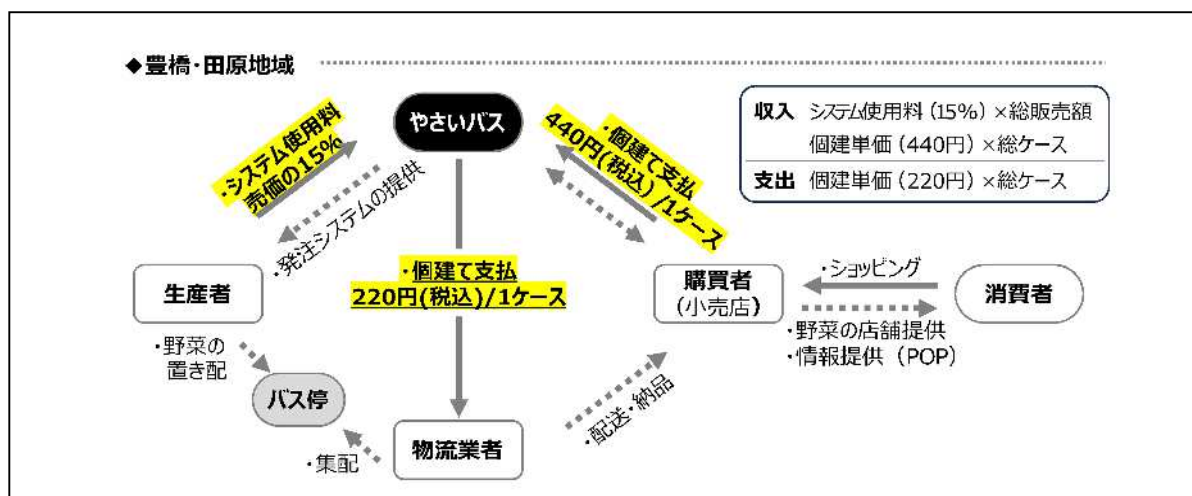


図 実証試験における豊橋・田原地域の配送ルート

3 事業の効果と今後の展開

豊橋・田原地域の配送ルートは現在も継続して運行されており（表2）、生産者に新しい販路を提供することができました。

また、2021年度から2023年度に事業への参加を呼び掛けた生産者等に「やさいバス」が継続して働きかけをし、尾張地域では2024年12月に新しい配送ルートが構築されました。

本事業の課題は、少量で多品目の農産物を効率よく配送するために、綿密な調整と安定した物量の確保が必要なことです。

特に、物量を確保するためには、多くの生産者が参加する必要があると、配送ルートを設定する前に、新しい販路の開拓に意欲的な生産者を集めることが重要です。豊橋・田原地域の事業における配送ルートの継続運行は、新しい取組に挑戦する意欲を持った生産者が多くいたことが要因の一つで、多くの若い生産者から「新しい取り組みは、既存の販路に加え、新たな販路開拓になる」との声が聞かれました。

地産地消を維持・発展させるためには、地産地消を実践する消費者が必要です。県としては、「いいともあいち運動」を通じて、地元農産物を積極的に購入する消費者を増やし、生産者の所得向上を図っていきます。

表2 2024年度の豊橋・田原地域の配送ルートの運行状況

年	2024									2025
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
生産者数	11	13	14	19	29	35	41	35	25	25
小売店数	4									2
生産者の 総販売額 (千円)	432	1,033	747	1,237	1,406	1,833	2,180	1,244	2,216	1,641

*販売額には県外への販売分も含む。



バス停に集荷された農産物



バーコードを貼って出荷

「白菜の収穫体験と漬物講習会」を実施しました

園芸農産課

愛知県は野菜産出額、漬物出荷額ともに全国上位となっていますが、県民1人当たりの野菜摂取量は全国の中でも非常に低いです。そこで、県民の方に愛知県の農産物と漬物への関心を高めていただき、消費を促進するため、白菜をテーマにした「白菜の収穫体験と漬物講習会」を2024年12月9日（月）に名古屋市内で開催しました。

1 「白菜の収穫体験と漬物講習会」事業の概要

当事業は農林水産省の「消費・安全対策交付金」の事業メニュー「食文化の保護・継承のための取組支援」として実施しました。今回は、秋冬野菜の白菜をテーマに、漬物を通して伝統的な食文化への理解を深め、その食文化を地域や家庭で受け継いでいただくことを目的としました。



白菜の収穫体験の様子

2 講話・体験会の内容

事業実施に御協力いただいた、JA なごや下之一色支店管内の生産者団体 VAC (Vegetable Active Club) 及び VAC 部長の布目巳佐子氏、(株) 香味小夜子の柴田哲典氏を講師として、白菜の収穫体験や白菜に関する講話、漬物のレシピ講座と簡単な漬物作り体験など盛りだくさんの内容で実施しました。



(1) 白菜の収穫体験

開催日は天候に恵まれ、参加者は生産者のアドバイスを受けながら、支店付近のは場で白菜を収穫できました。包丁で株元を切って収穫する作業でしたが、初めての方も多く、大きな白菜が収穫できると歓声が上がっていました。

(2) 白菜の講話

今夏は高温が続いたことで白菜栽培が非常に難しかったことや、当地域で古くから栽培されている野崎白菜の特徴等の話があり、参加者は熱心に聞いていました。また、併せて VAC の活動の紹介があり、参加者は地産地消の魅力について改めて認識していました。



漬物作り体験の様子

(3) 漬物レシピに関する講義

白菜を使った漬物のレシピ紹介の後、白菜の切り方や振り塩の仕方について実演をしました。参加者は紹介されたレシピについてメモを取りながら聞いていました。

(4) 漬物作り体験

あらかじめ塩漬けした白菜と人参を調味液につける作業を行いました。簡単な作業でしたが、参加者から「どの位で味が染みるか」等の質問が上がるなど、熱心に作業に取り組んでいました。

講習会後に実施したアンケートでは、「野菜について考える機会はありませんでしたので良かったです。」「漬物を食べる習慣がなかったが、作って食べてみたい。」等の感想があり、愛知県産の野菜と漬物の魅力を知っていただく貴重な機会となりました。今後も広く県民に向けてPRに努めていきます。

第 73 回関東東海花の展覧会が池袋で開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025 年 1 月 30 日から 2 月 2 日にサンシャインシティ文化会館で「第 73 回関東東海花の展覧会」（主催：愛知県含む 1 都 11 県、一般社団法人日本花き生産協会など花き関係 6 団体）が開催されました。花に対する理解を深め、花の一層の消費拡大を図ることを目的とした日本最大規模の花の展覧会です。1 月 30 日（木）に出品物の品評会、1 月 31 日（金）に開場式と一般公開が行われましたので、その概要を紹介します。



開場式の様子

1 産地紹介コーナーにおける本県の展示

産地紹介コーナーでは、関東東海地域の各都県における特産の花や、オリジナル品種などが紹介されました。本県は、県で開発した日持ち性の良いスプレーカーネーション「カーネフジ愛農 1 号（販売名：ドリーミーチェリー）」、「カーネアイノウ 1 号（販売名：ドリーミーブロッサム）」、香りのある白系バラの「愛知 2 号（販売名：アモールサベル）」を展示しました。この他のキクでは、スプレーマムやフルブルームマムに染料を混ぜた水に生けて花卉を染めたカラーリングマムを展示しました。



本県の展示

2 花の品評会の概要

花の品評会には、切り花や鉢物など合計 1,462 点が出品されました。本県からは 180 点の出品があり、金・銀・銅賞合わせて 58 点が受賞しました。そのうち、「きく」が特別賞として農林水産大臣賞を受賞しました。

表 本県の受賞一覧

部門	受賞 合計	賞別内訳			※特別賞
		金賞	銀賞	銅賞	
カーネーション	10	2	1	7	3
きく	28	4	9	15	11
ばら	3	—	1	2	1
球根切花	3	1	1	1	2
観葉植物	10	2	3	5	4
一般鉢物	3	—	—	3	—
洋らん	1	—	1	—	1

※金・銀・銅賞の中から農林水産大臣賞、農林水産省農産局長賞などを受賞した点数



本県のきくが農林水産大臣賞を受賞



一般公開での展示

3 花の即売会

最終日の2月2日（日）には品評会に出品された花の即売会が開催されました。毎年恒例の大人気企画で、受賞した花も購入することができるため、開場前の早朝から整理券配布に長蛇の列ができていました。

本県産の花も販売され、本県の花をPRできるイベントとして需要拡大の効果が期待されました。

今後も、各種イベントを通じて花の消費拡大と理解促進の取組を進めていきます。



花の即売会

フラワーバレンタインプロモーション2025について

園芸農産課

日本では、バレンタインデーはチョコレートを贈る日として定着していますが、イギリスやアメリカを始めとするいくつかの国では、大切な人に愛や感謝を伝えるために花を贈る風習があります。

日本においても、バレンタインデーに大切な人へ花を贈る文化が定着することを目指し、一般社団法人花の国日本協議会(旧フラワーバレンタイン推進委員会)が、「フラワーバレンタイン」を推進しています。

花の産出額が62年連続日本一の愛知県では、県産花きの需要拡大とあいちの花のPRを目的に、2011年度から花き関係団体等と「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を組織し、様々な取組を行っています。今年度も県内及び東京都内でフラワーバレンタインプロモーションを実施しました。

1 愛知県内でのプロモーション

(1) イオンモール大高でのプロモーション

2025年2月1日(土)、2日(日)に、イオンモール大高(名古屋市緑区)で花贈りパフォーマンスやワークショップを実施しました。

初日には、花男子プロジェクト※による花贈りパフォーマンスを実施しました。花男子が音楽に合わせて即興でブーケを作り、来場者も花男子のサポートを受けながらブーケを作ってパートナーに贈る体験ができました。この花贈り体験は、感謝の気持ちを花束に込めて贈るもので、参加者も観覧者も温かい気持ちになるイベントとなりました。

また、花贈りパフォーマンスに大村知事が出演し、あいちの花とフラワーバレンタインのPR、来場者への花贈りを行い、会場は大いに盛り上がりしました。



花贈りパフォーマンスの様子

二日目には、スタンディングブーケや花苗の寄せかごを制作できるワークショップを開催し、二人で参加された方には参加費がお得になるペア割を実施しました。ペア割を利用された方は全体の8割で、賑やかなワークショップとなりました。



ワークショップの様子



スタンディングブーケ



花苗の寄せかご

(2) 生花店におけるPR

2025年1月14日(火)から2月14日(金)まで、県内の生花店約400店舗で、フラワーバレンタインを消費者に周知するPOPの掲示を行いました。



POP

2 東京都内でのプロモーション

2025年2月8日(土)、9日(日)に、羽田空港第3ターミナルに隣接する羽田エアポートガーデン(東京都大田区)において花贈りパフォーマンスやフォトスポットの設置等を実施しました。

花男子プロジェクトによる花贈りパフォーマンスでは、愛知県出身の女性ユニット「コキリカ家」によるヴァイオリンとピアノの演奏に合わせて、大村知事が選んだあいちの花を使ったブーケを制作しました。制作したブーケは、大村知事から来場者へ贈られました。

また、大村知事や愛知県経済農業協同組合連合会会長などから、来場者へあいちの花の花束をプレゼントしました。

フォトスポットは、会場の櫓を舞台に、「和モダンのフラワーバレンタイン」をコンセプトとして、愛知県産のキク、バラ、グロリオサ、アルストロメリア等を使用して設置しました。カラーリングマムを印象的に装飾したフォトスポットでは、国内外の多くの来場者が写真撮影を楽しんでいました。

さらに、今年度は2024年12月に締結された「東京都と愛知県との連携・協力に関する協定」に基づき、東京都により都産の花き類の展示を行い、会場を彩りました。



花贈りパフォーマンス



あいちの花のプレゼント



フラワーフォトスポット



東京都の花き類展示

今後も、愛知県では「フラワーバレンタイン」を通して、花の需要拡大と県産花きのPRを積極的に推進していきます。

※ 花男子プロジェクト

東三河で活動するフローリスト(主に花や植物に携わる職種)や生産者、卸、流通に関わる有志が集まり、結成されたパフォーマンス集団で、「花を贈る文化を育てていきたい」という想いで活動しています。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
わずか : ± 2 % 台以内
やや : ± 3 ~ 5 % 台
かなり : ± 6 ~ 15 % 台
大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋市中心卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2024年実績	2 6 9	2 6 4 (9 8 %)	3 4 2	3 3 2	愛知 (9 8 %) 徳島 (2 %)
2025年見通し	2 2 0	—	3 6 0	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 県内の主な産地は知多半島。生産者の高齢化による栽培面積の減少と高温の影響による不作で入荷量は大幅に下回る見通し。 【見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△18.2%) 価 格：前年をやや上回る。(5.3%)			食生活の変化等によりふきの需要は減っているが、一定の需要があるため、産地には栽培面積と入荷量の維持をお願いしたい。 若手の生産者が経営を継続できるように、消費拡大、生産体制の支援等、関係者が連携して産地を支援していく必要がある。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

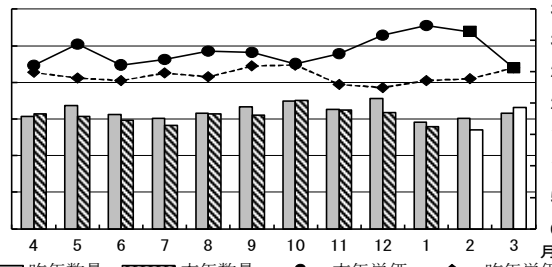
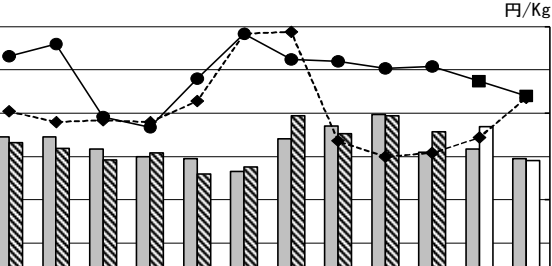
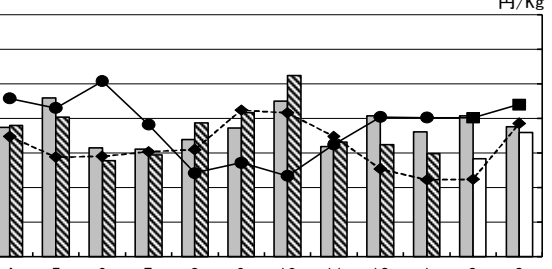
	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2024年実績	3 2 1	2 3 5 (7 3 %)	5 1 7	5 3 5	愛知 (7 3 %) 群馬 (2 2 %)
2025年見通し	2 6 0	—	5 8 0	—	千葉 (1 %)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 全国的に作付面積は減少傾向で、2024年の入荷量は5年前の2019年と比較して約63%減少した。本県産は、今作は高温の影響で生育がやや遅れ、生育当初は赤さび病に加えてコナジラミの発生が多かったが、1月以降は減少傾向である。入荷量は面積減少と高温による収量減で前年より減少し、単価は野菜全般が単価高のため前年より上昇する見込み。 【見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△19.0%) 価 格：前年をかなり上回る。(12.2%)			生産者の高齢化により作付面積と生産量の減少が続くと予想されるが、減少が続くと希少性よりも販売しなくなる方にシフトすることが危惧されるので、次の取組をお願いしたい。 ・出荷量の維持 ・秋ふき（抑制作）から春ふき（促成作）までシーズンを通した安定出荷 ・有利販売のための精度の高い出荷予定の情報発信 ・量販店を中心とした産地の魅力発信やブランド化		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋中央卸売市場

2月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
			上 旬	中 旬	下 旬			
野 菜 計	2020年	3 3, 6 6 6	2 0 6	213	208	195	愛知	22%
	2021年	3 4, 3 5 5	2 1 6	212	218	218	北海道	22%
	2022年	3 4, 8 6 6	2 1 8	222	216	215	茨城	9%
	2023年	3 3, 3 2 0	2 4 6	259	249	231	鹿児島	9%
	2024年	3 4, 1 6 3	2 3 3	234	241	224	熊本	5%
	5 ャ 年 平 均	3 4, 0 7 4	2 2 4	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	3 3, 1 0 0	2 5 6	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t 単価 円/Kg  ■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価					
【産地状況】 愛知と北海道を中心に入荷する。品薄高は続くものの、気温上昇や適度な雨により、入荷量は微増するものの、高値傾向の見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.1%) 価 格：前年をかなり上回る。(9.9%)								
だ い こ ん	2020年	1, 5 1 2	8 5	77	78	105	千葉	37%
	2021年	1, 7 6 4	8 4	80	88	89	静岡	21%
	2022年	1, 7 0 5	1 1 3	118	116	110	鹿児島	20%
	2023年	1, 5 8 7	9 2	97	91	93	愛知	10%
	2024年	1, 4 7 8	1 0 9	91	113	129	神奈川	7%
	5 ャ 年 平 均	1, 6 0 9	9 7	93	97	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	1, 4 5 0	1 1 0	110	115	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t 単価 円/Kg  ■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価					
【産地状況】 静岡、神奈川は終盤に入り、入荷は徐々に減少する。各産地トンネル物の作付が減っており、例年より少ない入荷となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.9%) 価 格：前年並。(0.9%)								
に ん じ ん	2020年	1, 8 4 6	1 6 7	125	174	194	徳島	55%
	2021年	1, 9 6 5	2 1 0	207	218	204	愛知	38%
	2022年	2, 2 5 3	1 1 0	101	113	119	長崎	4%
	2023年	1, 9 5 9	1 5 4	132	160	170	鹿児島	2%
	2024年	1, 8 8 2	1 9 3	161	197	221		
	5 ャ 年 平 均	1, 9 8 1	1 6 5	144	170	179	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	1, 8 0 0	2 2 0	240	230	210		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t 単価 円/Kg  ■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価					
【産地状況】 愛知の切り上がりが例年より早く、中旬以降から入荷する徳島との間に谷間ができる可能性がある。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.4%) 価 格：高値だった前年をかなり上回る。(14.0%)								

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

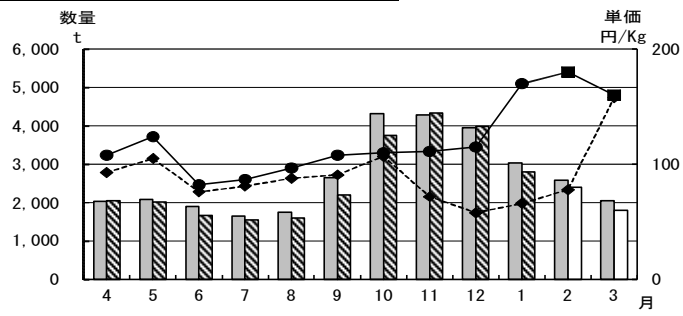
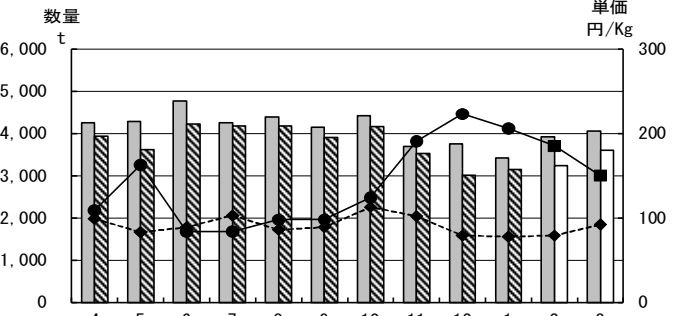
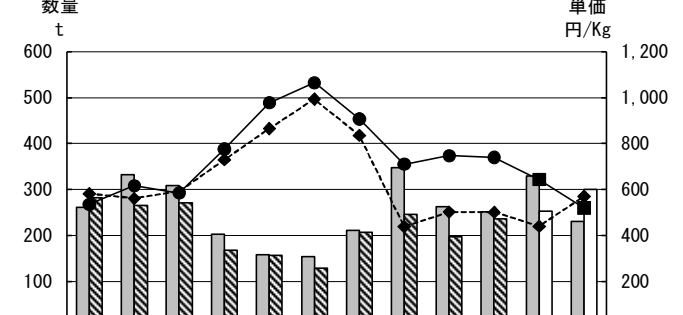
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格	上 旬 中 旬 下 旬			前年主要産地（％）
野 菜 計	2020年	1 2 4, 3 7 5	2 4 4	228	235	263	茨城 15%
	2021年	1 2 1, 3 7 8	2 3 8	240	236	240	千葉 13%
	2022年	1 1 7, 0 4 6	2 6 8	279	267	259	北海道 11%
	2023年	1 1 1, 3 6 7	2 6 6	270	264	263	愛知 10%
	2024年	1 0 4, 7 7 9	3 0 6	279	304	332	神奈川 7%
	5 ャ 年 平均	1 1 5, 7 8 9	2 6 3	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1 0 2, 0 0 0	2 9 0	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	【産地状況】 前月同様、数量減・単価高の傾向は続くが、増量期となる果菜類の単価は平年並に落ち着く見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.7%) 価 格：前年をやや下回る。(△5.2%)						
だ い こ ん	2020年	1 0, 2 2 4	7 7	71	65	95	千葉 51%
	2021年	1 0, 0 0 9	7 7	74	77	79	神奈川 44%
	2022年	9, 1 6 0	1 0 9	113	113	101	福岡 2%
	2023年	8, 8 9 5	9 0	93	86	91	茨城 1%
	2024年	8, 1 0 0	1 0 5	85	102	127	静岡 1%
	5 ャ 年 平均	9, 2 7 8	9 1	87	88	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	8, 1 0 0	1 1 5	110	110	125	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	【産地状況】 千葉、神奈川を中心に入荷する。各産地の干ばつ傾向は解消され順調な生育を見込む。神奈川は終盤となる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.0%) 価 格：前年をかなり上回る。(9.5%)						
に ん じ ん	2020年	6, 4 3 6	1 7 5	153	175	188	徳島 52%
	2021年	6, 6 3 6	2 1 0	210	219	202	千葉 28%
	2022年	6, 8 6 1	1 0 8	111	106	107	鹿児島 5%
	2023年	6, 1 8 8	1 5 6	140	160	167	埼玉 3%
	2024年	5, 6 8 0	2 0 1	172	208	218	茨城 3%
	5 ャ 年 平均	6, 3 6 0	1 6 9	157	172	175	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	5, 4 0 0	2 2 0	230	200	230	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)			
	【産地状況】 千葉産は終盤となり、徳島を中心に入荷する。徳島は生育初期の高温・干ばつが肥大に影響し、M・Lサイズ中心となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.9%) 価 格：前年をかなり上回る。(9.5%)						

名古屋市中央卸売市場

2月13日 現在

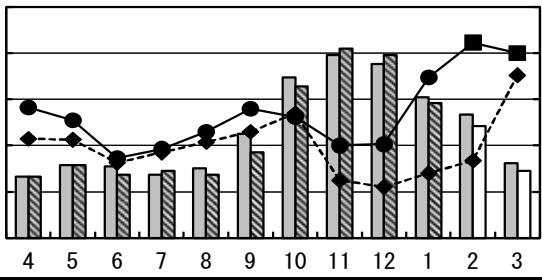
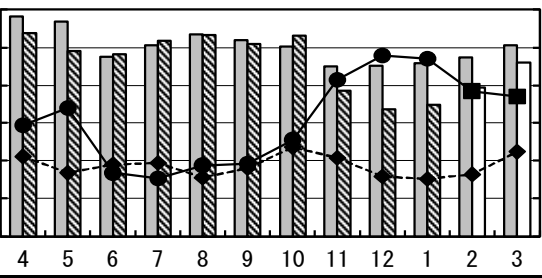
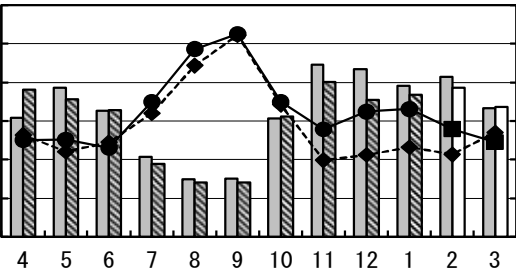
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	実績 と見通し	区 分	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
					上 旬	中 旬			下 旬
は く さ い	2020年		2, 3 0 8	1 1 6	101	104	135	茨城	50%
	2021年		2, 2 5 8	6 3	56	65	70	長崎	14%
	2022年		2, 0 0 1	9 0	77	94	103	兵庫	10%
	2023年		2, 1 7 3	9 6	86	97	109	三重	9%
	2024年		2, 0 5 3	1 5 8	114	149	223	熊本	9%
	5 ヲ年 平均		2, 1 5 9	1 0 4	87	101	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		1, 8 0 0	1 6 0	160	160	160		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し									
【産地状況】 各産地とも前進傾向で、茨城の切り上がりが早い見込み。長崎は順調な生育。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△12.3%) 価 格：高値だった前年並。(1.3%)									
キ ヤ ベ ツ	2020年		3, 9 4 4	8 2	76	68	94	愛知	91%
	2021年		4, 8 8 2	6 1	64	61	60	三重	3%
	2022年		4, 5 0 4	1 0 1	107	113	89	静岡	2%
	2023年		5, 0 7 7	7 7	79	78	75	滋賀	2%
	2024年		4, 0 6 0	9 2	79	91	107	熊本	1%
	5 ヲ年 平均		4, 4 9 3	8 2	81	82	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		3, 6 0 0	1 5 0	150	150	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し									
【産地状況】 12月から1月までの低温、干ばつのため、生育不良。小玉傾向が続く。今後、降雨があれば出荷量の増加が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.3%) 価 格：前年を大幅に上回る。(63.0%)									
ほ う れ ん そ う	2020年		2 8 3	4 8 7	423	462	587	茨城	46%
	2021年		3 8 3	3 5 7	361	329	384	愛知	26%
	2022年		3 7 6	4 0 7	476	369	388	福岡	10%
	2023年		3 5 0	4 4 6	482	425	435	岐阜	9%
	2024年		2 3 0	5 7 1	498	622	592	静岡	3%
	5 ヲ年 平均		3 2 4	4 4 1	444	424	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		3 0 0	5 2 0	550	520	450		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し									
【産地状況】 日長及び気温上昇に伴い、増量傾向。各産地順調な出荷となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(30.4%) 価 格：高値だった前年をかなり下回る。(△8.9%)									

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

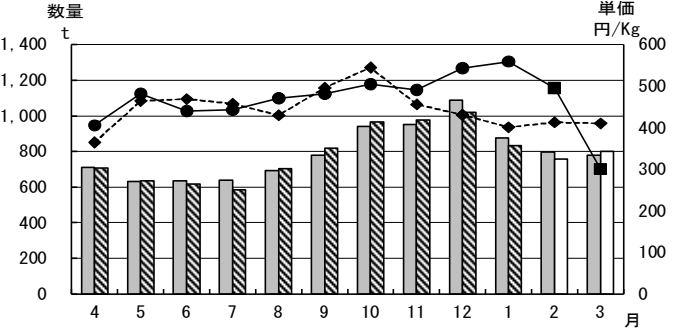
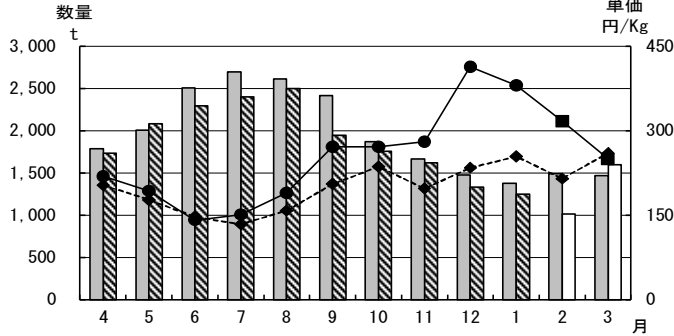
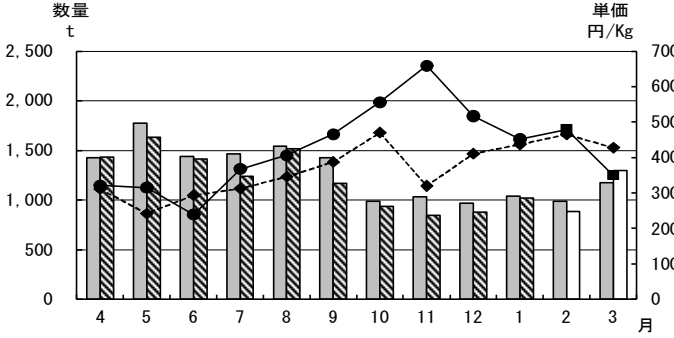
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地（％）			
			上 旬	中 旬	下 旬				
は く さ い	2020年	8, 0 7 9	1 0 3	80	90	144	茨城	75%	
	2021年	8, 7 3 3	4 3	33	41	58	群馬	10%	
	2022年	7, 7 4 2	8 0	61	78	111	兵庫	8%	
	2023年	6, 6 7 7	8 7	66	84	116	長崎	4%	
	2024年	6, 4 6 9	1 4 1	90	140	230	埼玉	2%	
	5 ャ 年 平均	7, 5 4 0	8 8	64	84	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	5, 8 0 0	1 6 0	170	170	140			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 20,000 16,000 12,000 8,000 4,000 0					単価(円/Kg) 200 160 120 80 40 0	
【産地状況】 茨城を中心に入荷する。入荷量は、上旬は茨城の秋冬作が終盤で不安定だが、下旬にかけて茨城の春作が増えて安定する。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.3%) 価 格：前年をかなり上回る。(13.5%)								月	
キ ャ ベ ツ	2020年	1 8, 3 1 6	9 3	77	75	119	愛知	58%	
	2021年	1 9, 0 9 9	6 2	62	64	61	神奈川	24%	
	2022年	1 8, 0 5 2	1 1 2	114	116	106	千葉	14%	
	2023年	1 7, 3 8 5	8 5	86	86	84	群馬	1%	
	2024年	1 5, 2 0 8	1 1 2	93	105	134	静岡	1%	
	5 ャ 年 平均	1 7, 6 1 2	9 2	86	88	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	1 3, 8 0 0	1 8 5	220	185	150			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 18,000 15,000 12,000 9,000 6,000 3,000 0					単価(円/Kg) 300 250 200 150 100 50 0	
【産地状況】 愛知を中心に入荷する。各産地の秋冬作の大幅な数量増は見込めない。神奈川の春作の入荷量が下旬からまとまってくる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△9.3%) 価 格：前年を大幅に上回る。(65.2%)								月	
ほ う れ ん そ う	2020年	1, 3 5 9	4 9 9	427	434	628	茨城	48%	
	2021年	1, 6 0 9	3 3 4	349	305	350	群馬	34%	
	2022年	1, 7 0 2	4 0 2	432	350	424	埼玉	6%	
	2023年	1, 6 1 9	4 1 8	438	381	436	千葉	5%	
	2024年	1, 3 3 6	5 4 2	493	581	553	栃木	4%	
	5 ャ 年 平均	1, 5 2 5	4 3 3	426	403	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	1, 3 5 0	4 9 0	470	500	500			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 2,400 2,000 1,600 1,200 800 400 0					単価(円/Kg) 1,200 1,000 800 600 400 200 0	
【産地状況】 茨城、群馬を中心に入荷する。茨城は概ね生育順調、群馬は一部産地で干ばつにより生育が停滞傾向。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.0%) 価 格：前年をかなり下回る。(△9.6%)								月	

名古屋市中央卸売市場

2月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	実績 と見通し	区 分	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
				上 旬	中 旬	下 旬			
ね ぎ	2020年		8 8 6	3 0 4	303	292	316	大分	38%
	2021年		7 4 4	4 3 3	473	417	409	静岡	11%
	2022年		8 2 6	3 8 4	416	374	365	群馬	11%
	2023年		8 6 0	3 2 9	347	319	314	茨城	6%
	2024年		7 7 8	4 1 0	412	393	416	愛知	6%
	5 ャ 年 平 均		8 1 9	3 6 9	387	356	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		8 0 0	3 0 0	300	300	300		
ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 大分、静岡の春ねぎは順調な出荷となる見込み。例年に比べ太物は少ない。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.8%) 価 格：前年を大幅に下回る。(△26.8%)								
し そ	2020年		1, 7 2 2	2 0 1	172	178	243	茨城	38%
	2021年		1, 7 5 4	1 4 7	147	146	149	兵庫	26%
	2022年		1, 6 9 6	2 2 4	271	218	192	熊本	9%
	2023年		1, 9 0 3	2 1 3	247	211	189	長崎	8%
	2024年		1, 4 6 9	2 6 0	191	259	343	静岡	6%
	5 ャ 年 平 均		1, 7 0 9	2 0 7	206	201	219	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		1, 6 0 0	2 5 0	250	250	250		
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 茨城の春物が増えてきて、春らしい売場作りができれば、荷動きは良好か。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(8.9%) 価 格：高値だった前年をやや下回る。(△3.8%)								
き ゃ う り	2020年		1, 6 1 0	3 2 4	348	343	298	愛知	55%
	2021年		1, 5 3 9	3 0 7	318	319	290	群馬	13%
	2022年		1, 4 9 7	2 8 1	318	275	255	宮崎	12%
	2023年		1, 3 4 1	3 3 8	372	328	318	高知	10%
	2024年		1, 1 7 3	4 2 8	509	425	374	鹿児島	8%
	5 ャ 年 平 均		1, 4 3 2	3 3 1	366	334	303	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		1, 3 0 0	3 5 0	360	350	340		
り	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 各産地天候が良ければ、前年より多い出荷となる見込み。春産地の群馬は上旬から増量し、下旬にピークとなる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(10.8%) 価 格：高値だった前年を大幅に下回る。(△18.2%)								

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

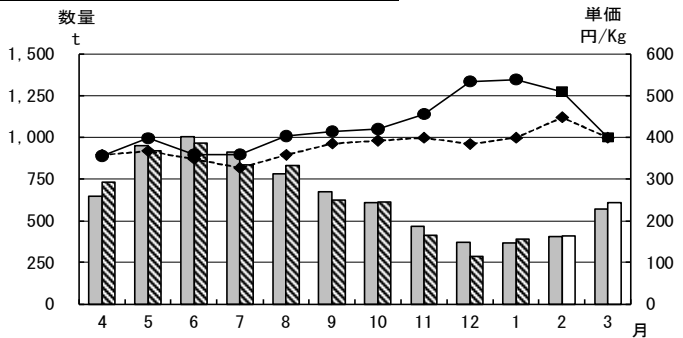
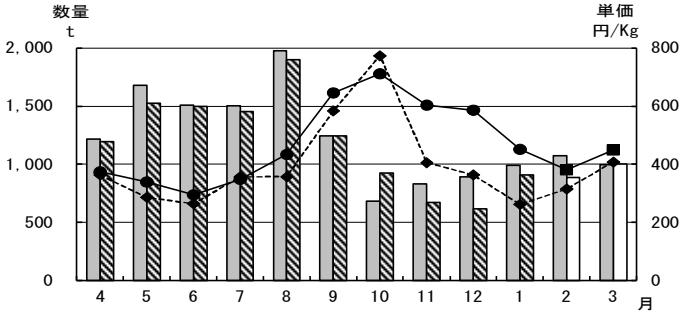
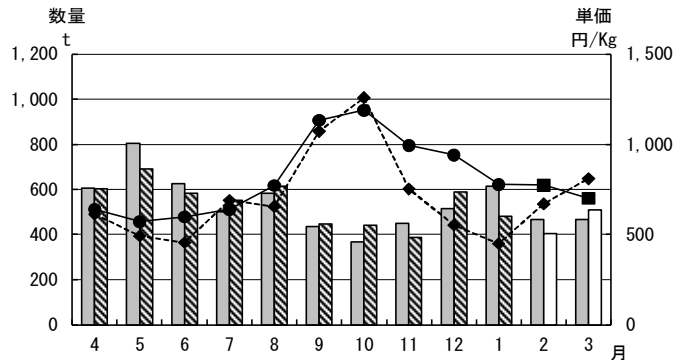
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地（％）			
			上 旬	中 旬	下 旬				
ね ぎ	2020年	4, 8 9 4	2 6 8	264	250	286	千葉	36%	
	2021年	3, 9 8 3	4 8 6	537	473	447	埼玉	21%	
	2022年	4, 3 3 2	3 6 0	389	352	343	茨城	15%	
	2023年	4, 5 4 8	2 8 1	296	264	282	栃木	9%	
	2024年	4, 2 9 6	3 9 1	402	376	394	群馬	6%	
	5 ャ 年 平 均	4, 4 1 1	3 5 2	371	338	346	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	4, 1 0 0	4 7 0	440	470	500			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000 0					単価(円/Kg) 700 600 500 400 300 200 100 0	
	【産地状況】 千葉、埼玉等を中心に入荷する。秋冬作は 気温上昇と適度な降雨による生育回復を見込 む。下旬には春作の入荷量が増える。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.6%) 価 格：前年を大幅に上回る。(20.2%)								
し そ	2020年	6, 7 9 9	1 8 6	160	163	229	茨城	49%	
	2021年	7, 1 7 4	1 3 3	135	126	138	静岡	12%	
	2022年	7, 0 1 7	2 1 2	258	202	177	香川	10%	
	2023年	7, 0 2 7	2 0 2	235	198	176	長崎	8%	
	2024年	6, 1 0 0	2 4 8	180	243	330	福岡	6%	
	5 ャ 年 平 均	6, 8 2 3	1 9 5	194	185	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	6, 1 0 0	2 3 0	250	220	220			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0					単価(円/Kg) 500 400 300 200 100 0	
	【産地状況】 茨城、静岡等を中心に入荷する。L中心の 入荷となり、降雨で肥大が進む可能性はある が、極端な数量増はない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.0%) 価 格：前年をかなり下回る。(△7.3%)								
き ゅ う り	2020年	6, 2 6 6	3 5 2	386	365	324	群馬	27%	
	2021年	6, 1 3 7	3 1 1	325	313	297	宮崎	24%	
	2022年	6, 1 8 4	2 8 5	323	271	264	千葉	14%	
	2023年	5, 6 8 9	3 4 8	394	334	321	埼玉	13%	
	2024年	4, 9 0 0	4 5 8	591	444	383	茨城	10%	
	5 ャ 年 平 均	5, 8 3 5	3 4 6	396	341	315	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2025年見通し	4, 7 0 0	3 8 0	420	360	360			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 9,000 7,500 6,000 4,500 3,000 1,500 0					単価(円/Kg) 900 750 600 450 300 150 0	
	【産地状況】 群馬、宮崎等を中心に入荷する。各産地と も概ね生育順調。天候次第だが、3月は増量 期のため安定した入荷が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.1%) 価 格：前年を大幅に下回る。(△17.0%)								

名古屋市中央卸売市場

2月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
			上 旬	中 旬	下 旬			
な ぎ	2020年	6 5 3	3 9 7	417	411	378	熊本	64%
	2021年	5 9 1	3 6 5	378	369	355	愛知	34%
	2022年	6 0 4	3 6 4	408	361	337	高知	2%
	2023年	7 1 5	3 5 4	388	348	335		
	2024年	5 7 0	3 9 9	415	398	388		
	5 ャ 年 平 均	6 2 7	3 7 5	401	377	358	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	6 1 0	4 0 0	420	400	380		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 2月の寒気による生育遅れの反動で、気温上昇に伴い、増量傾向。単価は高値で継続する。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(7.0%) 価 格：前年並。(0.3%)							
ト マ ト	2020年	1, 0 8 2	3 9 4	368	406	407	熊本	53%
	2021年	1, 2 2 3	3 0 5	304	311	306	愛知	22%
	2022年	1, 1 3 8	3 1 7	326	314	317	岐阜	12%
	2023年	1, 0 5 2	3 8 5	361	368	428	三重	10%
	2024年	9 9 8	4 0 9	377	394	456	鹿児島	1%
	5 ャ 年 平 均	1, 0 9 9	3 5 9	345	356	379	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	1, 0 0 0	4 5 0	400	450	500		
マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 1月の好天候により樹勢は回復しつつあり、例年並の出荷を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価 格：前年をかなり上回る。(10.0%)							
ミ ニ ト マ ト	2020年	4 2 0	7 7 8	791	809	753	熊本	70%
	2021年	5 6 5	6 2 8	654	634	604	愛知	24%
	2022年	5 8 7	6 4 9	670	658	630	和歌山	3%
	2023年	5 3 1	7 5 4	768	747	751	宮崎	3%
	2024年	4 6 8	8 1 1	836	807	795		
	5 ャ 年 平 均	5 1 4	7 1 7	737	723	699	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	5 1 0	7 0 0	700	700	700		
マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 各産地、着花は良好。気温の上昇に伴い増量する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(9.0%) 価 格：前年をかなり下回る。(△13.7%)							

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

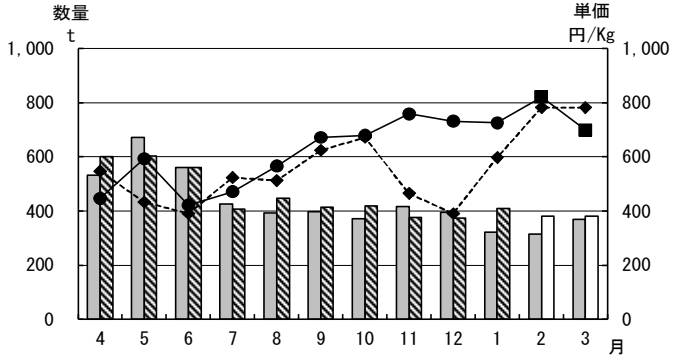
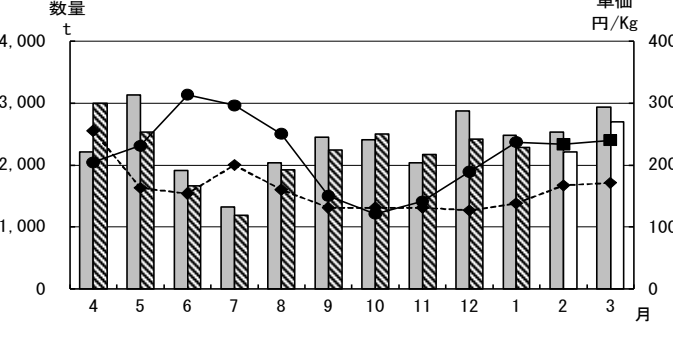
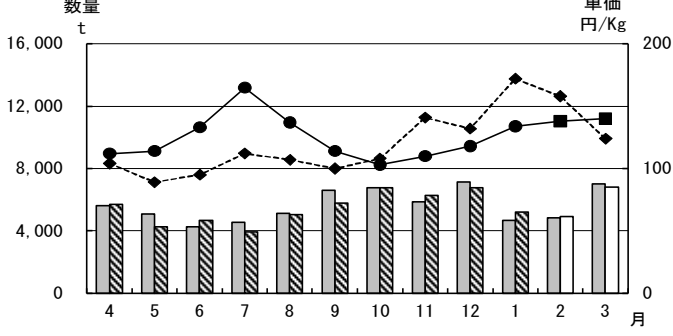
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地（％）		
			上 旬	中 旬	下 旬			
な す	2020年	3, 0 5 6	4 4 7	465	454	432	高知	57%
	2021年	3, 1 6 4	4 0 4	416	403	395	福岡	23%
	2022年	3, 2 5 1	4 0 2	451	406	363	熊本	12%
	2023年	3, 1 6 0	3 7 3	395	364	362	佐賀	3%
	2024年	2, 6 8 5	4 5 6	455	449	465	栃木	2%
	5 ャ 年 平均	3, 0 6 3	4 1 5	436	414	401	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	2, 7 0 0	4 4 0	400	430	490		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)					
	【産地状況】 高知を中心に入荷する。気温の上昇、日射量の増加とともに着果数が増え、3月は増量期となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.6%) 価 格：前年をやや下回る。(△3.5%)							
ト マ ト	2020年	5, 4 7 2	4 5 8	440	462	468	熊本	30%
	2021年	6, 2 9 4	3 5 3	354	354	352	栃木	26%
	2022年	5, 9 2 1	3 7 4	381	373	369	愛知	13%
	2023年	5, 2 4 6	4 3 0	406	416	468	茨城	6%
	2024年	4, 5 9 3	4 6 7	432	444	519	埼玉	5%
	5 ャ 年 平均	5, 5 0 5	4 1 2	400	406	429	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	4, 4 0 0	4 3 0	460	430	400		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)					
	【産地状況】 熊本、栃木等を中心に入荷する。各産地とも概ね生育順調。入荷は、Mサイズ中心で、数量は中旬以降に増える見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.2%) 価 格：前年をかなり下回る。(△7.9%)							
ミ ニ ト マ ト	2020年	1, 7 4 1	7 5 5	787	794	713	熊本	45%
	2021年	1, 9 6 3	6 0 6	634	625	569	愛知	17%
	2022年	2, 0 2 7	6 1 3	634	618	592	千葉	11%
	2023年	1, 7 8 5	7 2 9	757	711	724	宮崎	9%
	2024年	1, 5 5 3	7 9 0	812	784	776	静岡	7%
	5 ャ 年 平均	1, 8 1 4	6 9 2	718	700	668	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	1, 6 0 0	7 5 0	780	750	720		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)					
	【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。各産地とも概ね生育順調で、入荷量は中旬以降に緩やかに増える見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(3.0%) 価 格：前年をやや下回る。(△5.1%)							

名古屋市中央卸売市場

2月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
			上 旬	中 旬	下 旬			
ピーマン	2020年	4 8 6	6 4 7	657	659	633	鹿児島	60%
	2021年	5 5 2	5 7 4	621	577	547	宮崎	25%
	2022年	5 0 5	5 8 0	683	629	484	高知	13%
	2023年	4 6 4	6 8 3	792	750	593	茨城	2%
	2024年	3 6 8	7 8 2	821	795	794		
	5 ヲ年 平均	4 7 5	6 4 4	706	672	598	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	3 8 0	7 0 0	700	700	700		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 茨城の春ピーマンの入荷の開始と冬春産地の増量により、単価は落ち着く見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(3.3%) 価 格：高値だった前年をかなり下回る。(△10.5%)								
ばれいしょ	2020年	3, 4 2 5	1 4 6	125	129	181	鹿児島	69%
	2021年	2, 4 3 5	3 0 6	279	326	317	北海道	31%
	2022年	2, 7 1 5	2 3 7	289	244	190	長崎	1%
	2023年	2, 8 9 9	1 8 4	178	173	198		
	2024年	2, 9 2 8	1 7 1	156	177	180		
	5 ヲ年 平均	2, 8 8 0	2 0 3	199	203	209	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	2, 7 0 0	2 4 0	240	240	240		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 北海道は前年より少ない入荷見込み。鹿児島は平年作で、下旬に向け増加の見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.8%) 価 格：前年を大幅に上回る。(40.4%)								
たまねぎ	2020年	7, 1 8 2	7 7	81	80	74	北海道	83%
	2021年	7, 0 1 4	8 6	91	89	80	静岡	9%
	2022年	5, 7 6 6	1 8 8	191	184	189	愛知	6%
	2023年	6, 5 2 7	1 1 4	113	129	107	中国	1%
	2024年	7, 0 0 6	1 2 4	126	127	123	佐賀	1%
	5 ヲ年 平均	6, 6 9 9	1 1 5	118	119	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	6, 8 0 0	1 4 0	140	140	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 北海道を中心に静岡、愛知などから入荷する。静岡産は前進出荷により上旬にピークとなる見込み。愛知産は3月中旬から下旬にかけて出荷量が増加する見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.9%) 価 格：前年をかなり上回る。(12.9%)								

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地（％）		
			上 旬	中 旬	下 旬			
ピーマン	2020年	2, 0 4 2	6 6 9	689	671	654	茨城	41%
	2021年	2, 1 2 6	5 9 2	637	595	552	宮崎	33%
	2022年	2, 0 8 7	6 0 9	684	645	530	鹿児島	13%
	2023年	2, 0 6 9	6 9 8	791	733	601	高知	13%
	2024年	1, 9 1 9	8 0 0	827	798	784	沖縄	1%
	5 ャ 年 平均	2, 0 4 9	6 7 1	724	686	621	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	1, 9 0 0	6 9 0	740	690	640		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)	単価(円/Kg)			
【産地状況】 茨城、宮崎等を中心に入荷する。天候も安定し、各産地とも生育順調で、気温の上昇とともに入荷量は増える見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.0%) 価 格：前年をかなり下回る。(△13.8%)								
ばれいしょ	2020年	9, 2 3 9	1 2 6	107	120	148	北海道	51%
	2021年	6, 1 6 3	2 8 0	269	286	286	鹿児島	48%
	2022年	7, 0 0 6	2 2 4	266	231	186	長崎	1%
	2023年	6, 5 4 7	1 4 9	147	147	155		
	2024年	7, 4 9 6	1 5 2	133	152	171		
	5 ャ 年 平均	7, 2 9 0	1 8 0	177	181	185	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	7, 1 0 0	1 8 0	160	160	220		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)	単価(円/Kg)			
【産地状況】 北海道、鹿児島を中心に入荷する。北海道は順調な入荷を見込む。鹿児島は低温・干ばつの影響で生育遅れがみられる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.3%) 価 格：前年を大幅に上回る。(18.4%)								
たまねぎ	2020年	1 2, 2 3 7	7 6	79	85	70	北海道	67%
	2021年	1 0, 9 2 3	1 0 1	106	104	93	静岡	14%
	2022年	9, 1 0 2	2 3 3	225	233	241	佐賀	8%
	2023年	9, 8 1 9	1 3 5	134	138	133	長崎	6%
	2024年	1 0, 4 4 7	1 5 4	159	156	147	中国	3%
	5 ャ 年 平均	1 0, 5 0 6	1 3 5	136	139	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	9, 8 0 0	1 5 0	130	160	160		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)	単価(円/Kg)			
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。入荷量は、北海道は小玉傾向だが平年並、静岡は生育不良で平年より少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.2%) 価 格：前年をわずかに下回る。(△2.6%)								

名古屋市中央卸売市場

2月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	実績 と見通し	区 分	入 荷 量	卸 売 価 格	前年主要産地 (%)				
					上 旬	中 旬	下 旬		
果	2020年		6, 8 5 0	4 4 6	415	440	454	フィリピン	23%
	2021年		6, 7 4 4	4 4 6	423	419	465	青森	17%
	2022年		7, 2 2 3	4 4 4	425	439	485	愛媛	14%
	2023年		6, 5 5 1	4 7 9	493	480	470	熊本	10%
	2024年		7, 6 2 9	4 6 7	471	479	459	愛知	8%
	5 ヲ年 平均		6, 9 9 9	4 5 6	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		6, 8 0 0	5 1 0	—	—	—		
実 計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 かんきつ、りんご、いちごなどが主な品目となる。かんきつは、数量減の単価高が予想される。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.9%) 価 格：前年をかなり上回る。(9.2%)								
り	2020年		1, 5 7 2	3 5 1	340	355	360	青森	100%
	2021年		1, 9 4 5	2 5 3	251	250	259		
	2022年		1, 3 3 2	3 8 3	377	384	389		
	2023年		1, 8 4 0	3 0 1	299	297	309		
	2024年		1, 0 8 7	4 6 2	449	462	477		
	5 ヲ年 平均		1, 5 5 5	3 3 6	330	335	344	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		1, 0 0 0	5 2 0	520	520	520		
ん ご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 CA貯蔵、SF処理中心の出荷。下等級品の割合が高まるが、価格は高値推移となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.0%) 価 格：前年をかなり上回る。(12.6%)								
い	2020年		9 0 5	1, 2 4 4	1, 222	1, 254	1, 252	愛知	62%
	2021年		9 6 0	1, 3 8 4	1, 426	1, 434	1, 318	熊本	21%
	2022年	1, 0 8 9	1, 1 2 7	1, 273	1, 090	1, 028	鹿児島	7%	
	2023年	9 9 4	1, 3 5 4	1, 605	1, 347	1, 162	福岡	2%	
	2024年	7 0 5	1, 6 1 5	1, 648	1, 650	1, 546	佐賀	2%	
	5 ヲ年 平均		9 3 1	1, 3 2 5	1, 422	1, 333	1, 239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し		9 0 0	1, 4 0 0	1, 500	1, 400	1, 300		
ち い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
	【産地状況】 高温期に入るため、遠隔地の品質低下が懸念される。3番果がピークを迎える予想。 【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(27.7%) 価 格：前年をかなり下回る。(△13.3%)								

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地（％）		
			上 旬	中 旬	下 旬			
果	2020年	2 9, 2 1 1	5 1 2	484	500	498	青森	20%
	2021年	3 1, 0 5 4	5 0 9	496	492	543	愛媛	15%
	2022年	2 7, 9 5 5	5 6 5	573	565	556	熊本	10%
	2023年	2 7, 7 8 0	5 7 8	582	591	560	栃木	10%
	2024年	2 4, 8 7 0	6 4 7	624	653	663	静岡	7%
	5ヵ年平均	2 8, 1 7 4	5 5 9	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	2 4, 3 0 0	6 7 5	—	—	—		
実 計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 みかん、いちご、りんごが入荷の中心。みかん全体の入荷は終盤に向かい、いちごは入荷ピークとなる。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.3%) 価 格：前年をやや上回る。(4.3%)							
り	2020年	6, 0 6 9	3 5 3	346	343	344	青森	98%
	2021年	7, 5 3 3	2 6 0	261	260	258	山形	1%
	2022年	5, 6 1 2	3 7 3	366	377	377		
	2023年	6, 5 0 6	2 9 9	293	299	306		
	2024年	4, 9 4 1	4 5 1	434	449	468		
	5ヵ年平均	6, 1 3 2	3 3 8	332	337	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	4, 9 5 0	4 6 3	460	460	470		
ん ご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 青森の入荷が中心。「ふじ」「ジョナゴールド」「王林」が多く、各品種とも食味、品質は良好。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.2%) 価 格：前年をわずかに上回る。(2.7%)							
い	2020年	5, 1 0 2	1, 3 3 5	1,438	1,359	1,239	栃木	50%
	2021年	5, 2 6 9	1, 3 7 1	1,399	1,394	1,328	福岡	13%
	2022年	5, 9 9 7	1, 2 4 3	1,335	1,218	1,178	茨城	12%
	2023年	5, 6 8 7	1, 3 6 8	1,535	1,362	1,232	静岡	8%
	2024年	4, 8 7 1	1, 5 3 6	1,581	1,580	1,469	佐賀	6%
	5ヵ年平均	5, 3 8 5	1, 3 6 5	1,454	1,375	1,283	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	4, 7 7 0	1, 5 4 8	1,585	1,590	1,470		
ち ご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	【産地状況】 栃木が半数以上を占め、2番果と3番果の連続した入荷を見込む。福岡は後半に入荷量が増えてくる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.1%) 価 格：前年並。(0.8%)							

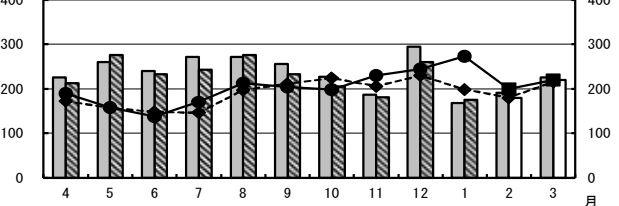
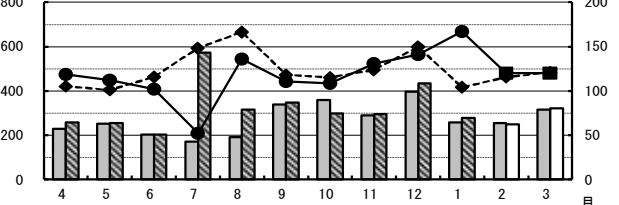
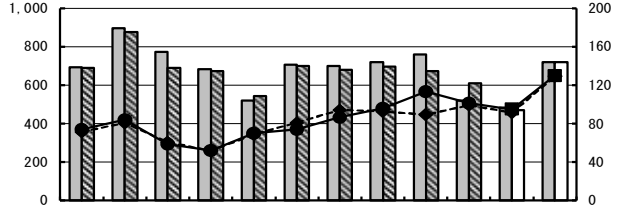
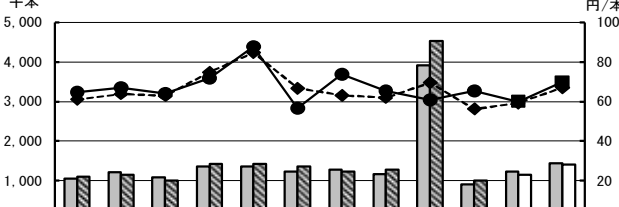
切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月3日現在）

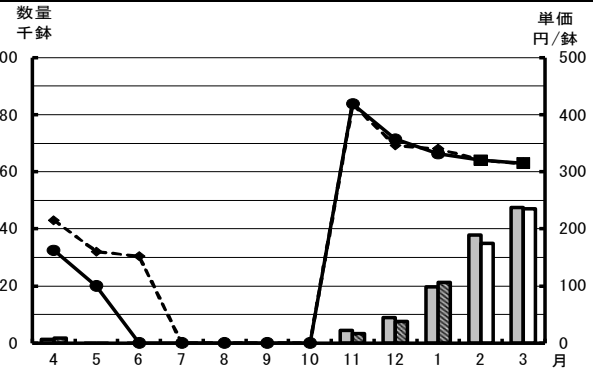
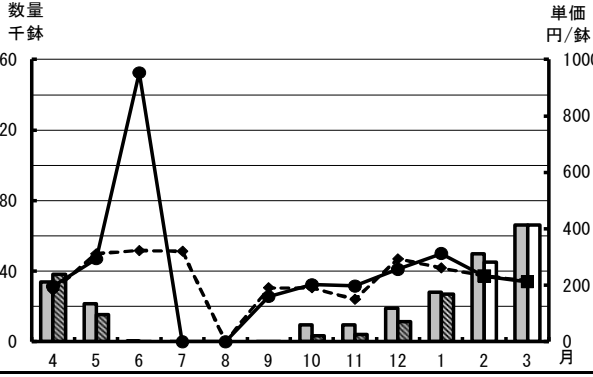
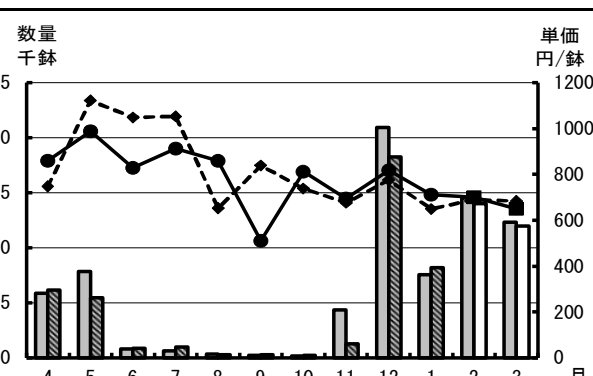
単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	2020年	1, 8 7 1	4 7	
		2021年	1, 6 6 1	6 0	
		2022年	1, 4 5 6	6 3	
		2023年	1, 4 8 9	6 7	
		2024年	1, 4 2 1	5 9	
	5 ヲ年平均		1, 5 8 0	5 9	
	2025年見通し		1, 4 0 0	6 0	
概要	愛知、三重、沖縄からの入荷。上旬は入荷量、相場の動きも落ち着くと思われ。中旬以降は春の彼岸需要に向けて、入荷量も増えるが、引き合いが強まり、相場は強い見込み。				
小 ぎ く	実績	2020年	1, 7 8 4	2 7	
		2021年	1, 8 5 4	3 7	
		2022年	1, 8 5 4	3 7	
		2023年	1, 4 8 8	4 1	
		2024年	1, 3 3 0	3 1	
	5 ヲ年平均		1, 6 6 2	3 5	
	2025年見通し		1, 2 0 0	4 0	
概要	沖縄中心の入荷。作柄が悪く、入荷量は前年よりも減少する見込み。価格は前年よりも大幅に高くなる見込み。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2020年	1, 2 7 3	4 1	
		2021年	1, 2 9 5	5 2	
		2022年	1, 1 7 3	5 9	
		2023年	1, 2 9 5	5 2	
		2024年	1, 0 8 7	6 5	
	5 ヲ年平均		1, 2 2 5	5 3	
	2025年見通し		1, 1 0 0	6 5	
概要	愛知、輸入中心の入荷。愛知産の栽培面積の減少の影響もあり、国産は前年より少ない見込み。その減少分を輸入で補うため、全体としては前年並の入荷量となる見込み。				
か す み そ う	実績	2020年	1 8 8	7 4	
		2021年	2 1 6	9 3	
		2022年	1 8 0	1 1 9	
		2023年	2 1 6	9 3	
		2024年	1 9 6	1 1 6	
	5 ヲ年平均		1 9 9	9 9	
	2025年見通し		2 0 0	1 0 0	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。2月が低温で推移したため、出荷量は多くなかったが、気温の上昇に伴い入荷量は増える。特に、上旬の出荷量は多くなる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2020年	2 8 1	1 6 0	
		2021年	2 6 9	1 8 8	
		2022年	2 4 2	1 9 0	
		2023年	2 6 9	1 8 8	
		2024年	2 2 6	2 1 6	
	5 ヲ年平均		2 5 7	1 8 7	
	2025年見通し		2 2 0	2 2 0	
概要	オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷となる。入荷量は多くない見込み。鉄砲、LAユリ等はやや少ない入荷となる見込み。				
洋らん	実績	2020年	4 2 5	7 5	
		2021年	3 3 7	1 0 8	
		2022年	3 3 2	1 1 8	
		2023年	3 3 7	1 1 1	
		2024年	3 1 5	1 2 1	
	5 ヲ年平均		3 4 9	1 0 5	
	2025年見通し		3 2 0	1 2 0	
概要	コチョウランは国内産、輸入も含めて入荷微増の見通し。カトレアは暖かさが進むにつれ、微増していく。デンファレはソニア中心に入荷増、オンシジウムは上位等級が今後増えてくる。シンビジウムは徳島、高知産が入荷予定。				
ばら	実績	2020年	6 7 0	8 3	
		2021年	7 4 8	1 0 7	
		2022年	7 8 2	1 1 4	
		2023年	7 4 8	1 0 8	
		2024年	7 1 9	1 2 9	
	5 ヲ年平均		7 3 3	1 0 9	
	2025年見通し		7 2 0	1 3 0	
概要	愛知、岐阜、三重を中心に入荷。3月から輸入の入荷量は伸びてくる見込み。国産は例年並の入荷となる見込み。				
枝もの	実績	2020年	1, 2 8 7	5 2	
		2021年	1, 5 0 9	6 4	
		2022年	1, 4 4 1	6 7	
		2023年	1, 5 4 7	6 5	
		2024年	1, 4 4 0	6 7	
	5 ヲ年平均		1, 4 4 5	6 3	
	2025年見通し		1, 4 0 0	7 0	
概要	桃の出荷も終わり、国際女性デーに向けてミモザアカシアの引き合いが強くなるが、例年にない不作。12、1月と雨が少なく、花が膨らんでいない。冬場の乾燥が追い打ちをかけ、促成物も出荷が非常に少ない状況。卒業シーズンに入るが、コデマリ等も遅れ気味。桜等は例年通りの入荷が見込まれる。				

品目		区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
カラ	実績	2020年		4, 3 1 1	3 9 6	数量 千鉢 単価 円/鉢	月
		2021年		4, 3 7 5	4 2 0		
		2022年		5, 6 9 3	5 0 6		
		2023年		7, 8 6 9	5 1 1		
		2024年		3, 3 1 7	5 9 6		
	5ヵ年平均			5, 1 1 3	4 8 6		
	2025年見通し			3, 0 0 0	5 9 7		
概要	球根価格の高騰と販売価格の低迷により、3月から母の日前の出荷を行わない生産者がいるため、入荷量は例年より大幅に減少する見込み。5号鉢中心の入荷となる。価格は入荷量の減少に伴い堅調。前年は3月の気温が低く、低調気味だったが、今年は春の訪れが早い予報であり、暖かければ堅調な動きとなる。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（71.0%）、2位長野（24.6%）、3位千葉（2.0%）となっている。						
ファレノプシス	実績	2020年		3 0, 5 4 5	3, 0 9 4	数量 千鉢 単価 円/鉢	月
		2021年		2 8, 6 8 4	3, 8 7 2		
		2022年		2 8, 8 3 3	4, 2 3 6		
		2023年		3 5, 6 1 1	3, 9 7 1		
		2024年		3 0, 9 8 6	3, 5 1 4		
	5ヵ年平均			3 0, 9 3 2	3, 7 3 7		
	2025年見通し			3 0, 9 0 0	3, 5 2 1		
概要	入荷量は前年並か。ミディー胡蝶蘭の生産量も下げ止まりし、単価も安定する。大輪も前年並の見込み。輸入苗の単価、資材費の値上により単価は前年並の見込み。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（54.8%）、2位千葉（9.0%）、3位宮崎（8.6%）となっている。						
バラ及びミニバラ	実績	2020年		6 3, 8 6 6	1 7 9	数量 千鉢 単価 円/鉢	月
		2021年		6 9, 5 6 4	1 9 7		
		2022年		5 4, 7 9 1	2 0 6		
		2023年		6 4, 6 0 5	2 1 7		
		2024年		4 6, 6 2 8	2 2 6		
	5ヵ年平均			5 9, 7 2 7	1 9 5		
	2025年見通し			4 6, 0 0 0	2 2 8		
概要	入荷量は前年並か。小鉢の3～4号が中心となり、5号以上は4月以降の入荷になる見込み。各種イベントで需要が高まることを期待したい。3月は暖かい予報で出荷が早まること予想されるが、価格は前年並の見込み。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（64.1%）、2位岐阜（28.9%）、3位愛媛（4.7%）となっている。						

品目		区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
サイネリ	実績	2020年		60,559	210		
		2021年		56,677	273		
		2022年		48,244	264		
		2023年		57,696	279		
		2024年		47,571	314		
		5ヵ年平均		54,149	266		
		2025年見通し		47,000	315		
概要	入荷量は前年並か。花芽形成が早い産地もあり、3月2週目から4、5号が品薄となり、品薄高の見込み。資材、燃料等の高騰により、産地の価格は高値傾向の見込み。買い手に届くかが鍵になると思われる。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位香川（21.1%）、2位愛知（20.1%）、3位富山（16.1%）となっている。						
マーガレット	実績	2020年		74,918	192		
		2021年		95,082	220		
		2022年		89,058	217		
		2023年		88,825	206		
		2024年		66,288	217		
		5ヵ年平均		82,834	211		
		2025年見通し		66,000	212		
概要	入荷量は前年並か。鉢サイズは、3、5号ポット及び4号鉢が中心となる。価格面では5号鉢以上が厳しく、主要サイズが安定するため大幅な変動はない見込み。春の訪れが早い予報となっており、3月が暖かければ出荷が前倒しとなり、下旬は品薄になると見込まれる。ここ数年、色変わりの品種やアネモネ咲き・ボンボン咲き等の変わり咲き栄養系品種の人気の高い。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（24.0%）、2位愛知（16.1%）、3位岐阜（14.2%）となっている。						
デンドロビウム	実績	2020年		20,048	512		
		2021年		16,362	643		
		2022年		14,459	661		
		2023年		13,613	709		
		2024年		12,353	684		
		5ヵ年平均		15,367	630		
		2025年見通し		12,000	650		
概要	入荷量は前年よりわずかに減少か。例年と同じく4～6号中心の入荷になる。開花が例年より遅れているが、気温の上昇次第では開花が急激に進み、出荷が重なる可能性もある。2月の寒波の影響等により、前年より販売は苦戦しており、3月も前年より厳しい見込み。生産者は年々減少傾向。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（51.7%）、2位岡山（18.5%）、3位高知（13.6%）となっている。						



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていくという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.621
2025年3月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434